

2010年から日本国内で販売してきたCB1100は国内の道路事情と法規適合性を両立させるため、吸気・排気にそれぞれデバイスを装着してきました。今回の2014年モデルは吸気・排気のエアマネジメントを変更し、新法規に適合した仕様になっています。特に排気の原因音感にこだわり、マフラーの第一室の容量変更及び、グラスウールを廃止しています。

これは、2013年にデビューした欧州向けの排気形態がベースで、ヨーロッパの丘陵地帯において1100ccのトルクを十分に味わう事ができる出力特性でもあり、発売以来ご好評いただいております。今回は輸出仕様として鍛え上げられた実績を国内のお客様へお届けすることになりました。

また、CB1100 EXはシンメトリーな美しさを追求すると共に、空冷らしい骨太のエンジンフィールをいっそう堪能できる2本出しマフラーを採用しました。

